

妻ヶ丘中学校だより

令和5年7月21日 校長 深江 祐史

一学期が終了しました

学期末になって新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの感染拡大が心配されましたが、何とか学級閉鎖等をすることなく令和5年度の第一学期を終えることができました。しかし、今週末は、宮崎県中学校総合体育大会の後半戦及び吹奏楽コンクール代表選考会が行われます。また、学校外のクラブ等で活動している皆さんも大事な大会が、そして美術部の皆さんは作品展が控えています。何とか影響が出ないことを祈るのみですが、生徒の皆さん、自分に出来る感染予防そして熱中症への対策をおこたることなく精一杯力を発揮してください。健闘を祈ります。

1 終業式が行われました。

本日(21日)の終業式では、4名の生徒に「一学期の反省と今後の抱負」を述べてもらいました。

1年代表の 松本 絆愛 さんは、反省点として①テストへ計画的な取組ができなかった②清掃へ時間一杯の取組が不十分だった。またよかった点として体育大会のリーダー、学級委員長として頑張れたことを挙げました。

2年代表の 塩川 翔琉 さんは、今学期、失敗や困難も含めて一つ一つの経験が成長につながった。そして修学旅行実行委員として頑張ったことを挙げました。また、二学期に予定されている修学旅行は学年生徒全員の思い出に残るものになるよう取り組みたいとの決意表明もありました。

3年代表の 岩元 彩奈 さんは、体育大会は競技・サンバヤッサ・応援も含めとても充実感があつた。反省点としては、計画的に学習に取り組めず後悔した面があつたので、悔いのない夏にしたい。そして、文化祭は3年生の団結力を生かしてぜひ成功させたいとの言葉がありました。

生徒会代表の 田中 ひより さんは、執行部にとって充実した学期であった。生徒総会では地域への貢献について全校生徒で活発な話し合いができた。そして二学期は、妻ヶ丘地区ふれあいまつりへの協力に向け具体的な動きをしていきたいとのことでした。

発表は、県大会等を控えていることもあり、体育館での対面式でなくリモートとなりましたが、4名は、堂々とカメラの前で、しっかり自分の言葉で述べていました。4名ともとても良い表情でした。

その後、私からは、全校生徒に対して以下の話をさせていただきました。

(前略)皆さんにいつも言っている「自立・感謝・貢献」について、いかがだったでしょうか。【自立】この一学期、自分一人でできることが何か一つでも増えましたか?【感謝】あなたが、感謝しなければいけない人って誰でしょう【貢献】誰かの何かの役に立てましたか?今朝、学校に竹町公民館長からとてもうれしい電話がありました。先日、中学生2名が「地区の祭りで何かお手伝いすることはありませんか」と館長を訪ねてこられたそうです。素晴らしいですね。「貢献」ですね。

今日は一学期終業の日です。節目節目に、じっくり自分のことを振り返ってみることはとても大切なことです。次の一步を踏み出す、その方向が見えてくるかもしれません。

話は変わりますが、先週末、私は大忙しで、県大会に出場する部活動や吹奏楽部の演奏を聴くために宮崎市と都城市を行ったり来たりしました。明日からもそうなりそうですが、これは贅沢な悩

みて、これだけ多くの生徒が県大会に出場する学校はそうありません。とても幸せな校長です。

大会では多くの感動をもらいました。やっぱり、一生懸命は美しいですね。みなさんの姿を見た多くの人がそう思ったと思います。見事、九州大会という次のステージへの切符を手にした皆さんもいましたし、残念ながら大接戦の末、惜しくも敗れてしまった人たちもいました。でも、負けた時にしばらく動けなくなるくらい頑張った経験はこれからの人生の貴重な財産になると思います。今はよくわからないかもしれませんが、確実にあなたの力になっています。

さて、今回、さまざまな会場を訪れる中で、「ありがたいな」と感じる事が多くありました。

ちょっとこれを見てください。競技によっては、試合で線審などを中学生がする競技がありますね。県大会ですので、どの競技もその人たち(中学生)が緊張感をもって挑んでいるのがよくわかりました。ちょっとした間違いが勝敗を左右することがありますので、本当に選手以上に真剣で必死の表情がありました。

また吹奏楽コンクールでは、どこの中学生でしょうか。雪崩のようにやってくる観客の方々を受付でテキパキとさばいたり、会場内での注意事項をプラカードで示して観客を座席に案内したり、演奏の間の短い時間をつかって会場全体をコントロールする中学生もいました。演奏する学校に絶対に悪い影響が及ばないように動いていました。そういういわゆる裏方として頑張っている、皆さんと同じ中学生が数多くいたこともみなさんにぜひ伝えておきたいと思います。

そして、何より応援ですね。試合に出ない人たちの必死の応援が実に見事でした。選手と同じ気持ちになって応援ができる人を私は尊敬します。バレーボールは都城市が会場ということもあって、妻ヶ丘中からも多くの方が制服で応援に来てくれました。ありがとうございました。それと女子バレーの会場でしたが、いつもより応援席の人数が多いぞと思っていたら、先に負けてしまった市内の別の中学校の部員が妻ヶ丘中の応援席で一緒になって応援してくれていました。あれは、なかなかできることじゃないですね。自分たちが負けた後、別のチームを応援するなんて・・・なかなか素晴らしい光景でした。感謝ですね。

と、いうように「おかげさま」を強く感じた数日間でした。知らないうちにいろんな人のお世話になっている、そういうことが分かるようになって・・・誰かを助けたり、応援したりすることの喜びも感じられるようになり、人として深みが増すようになると思います。気が付いていますか？あなたの周りもそういう人がいます。自分がまだ気が付いていないだけかもしれませんね。自分が感謝しなければならぬ人は誰なのか？そういう一学期の振り返りもしてみるのもいいと思いますよ。

皆さんの中に「自分一人の力だけでここまで来た」なんていう人はいないと思いますが、そういうのを“傲慢”といいます。世の中はそう甘くはないですよ。あなたが感謝を伝えなければならぬ人、けっこう近くにいるんじゃないですかね。

これから、長い夏休みに入ります。この後、県大会、代表選考会、九州大会が控えている皆さん、また学校外のクラブ等で大会がある皆さん、頑張ってください。そして、美術部の皆さん、作品展もぜひ観覧に行きたいと思っています。

さらに三年生の皆さん、これまでの夏とは違いますよね。「勉強に燃えた夏」にしてください。毎年、夏休み明け、劇的に変わった中3生をこれまで数多く見てきました。まずは、計画、実践、あとは「習慣にする」だと思っています。頭で考えるよりもまずはやってみることです。

それでは、妻ヶ丘中学校の全生徒の皆さん一学期、本当によく頑張りました。新学期に、また一つ成長した皆さんとの出会えることを楽しみにしています。

一学期、大変お世話になりました。しばらくの間、子どもたちを家庭・地域にお返しますが、どうぞよろしく願いいたします。